



平成 19 年 11 月 14 日

各 位

会社名 大同メタル工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 坂本 雅昭
(コード番号 7245 東証・名証第 1 部)
問合せ先 執行役員総務センターチーフ 玉谷 昌明
(TEL. 052-205-1401)

国内工場の閉鎖と集約化に関するお知らせ

当社は、平成19年7月17日の取締役会において、東京工場（横浜市港北区）及び埼玉工場（埼玉県入間市）の両工場を、労働組合との協議が整い次第閉鎖して、大同プレーンベアリング株式会社（当社100%子会社、以下「DPB」という。）の関工場（岐阜県関市のぞみが丘）に集約することを決議いたしました。

その後、会社および労働組合の双方は、従業員の雇用確保を前提に、諸条件について協議を重ねてまいりましたが、大筋での合意に至ったことから、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 両工場の閉鎖と DPB への集約化の理由

近年、自動車業界を取り巻く環境は、地球温暖化問題、原油高騰及び新興国の躍進などにより、技術開発、コストそれにシェアなど熾烈なグローバル競争下にあり、業界優位性の確立に向けた世界規模の企業再編が進み、それに加え、国内の自動車関連企業は生き残りを賭け、生産活動を国内から海外へと拡大しており、自動車の海外生産台数が国内生産台数を上回る状況となっております。

このような業界環境下にあつて、当社グループは、早くから世界4極体制を掲げ、海外生産・販売体制を構築してまいりましたが、拠点体制づくりはほぼ整ったものの、更なる売上の拡大と、経営基盤の強化による利益の創出及び確固たる地位の確立を目指すためのモノづくり・技術開発・コストなどの競争力強化に向け、より積極的な取り組みが必要であります。

そのため、当社グループの中心的役割を担う、国内の経営基盤強化を図ることが重要且つ優先課題と位置づけ、モノづくりの原点である、生産効率を高め、収益力向上を目指すため、生産拠点体制の再編による集約化を実施することとし、自動車エンジン用軸受の国内生産拠点である東京・埼玉両工場を閉鎖し、DPBへの生産集約に踏み切ることを決断いたしました。

なお、両工場の閉鎖は、いずれも首都圏にあつて、地域環境や人材確保の観点から、長期に亘る生産活動の維持が困難であることも考慮しての判断であります。

2. 閉鎖予定の両工場の概要

	生產品目	月産金額	従業員数
東京工場	自動車エンジン用 半割軸受	90百万円	51名
埼玉工場	自動車エンジン用 半割軸受	180百万円	67名

3. 両工場のDPBへの設備移設計画

	移設スケジュール
東京工場	2008/01月～2008/03月
埼玉工場	2008/02月～2008/07月

- * 生産活動は、東京工場：2008/04月、埼玉工場：2008/08月終了予定であります。
- * 両工場の生産ラインの一部は、海外子会社へ生産能力増強を図るため移設します。

4. 生産集約拠点であるDPBの概要と状況（2007年9月末現在）

(1) 概要

- ・会社名 : 大同プレーンベアリング株式会社
- ・本社・工場 : 岐阜県関市のぞみが丘
- ・資本金 : 1億円
- ・代表者 : 代表取締役社長 馬場 幸児
- ・生産金額 : 172百万円（2007年9月）
- ・従業員数 : 202名（当社出向者含む）
- ・事業内容 : 自動車エンジン用軸受の製造

(2) 状況

- ①2007年01月 : 新工場竣工
- ②2007年02月 : 新設ライン導入
犬山工場より自動車エンジン用軸受生産ライン移設開始
- ③2007年03月 : 生産一部開始
- ④2007年12月 : 犬山工場の設備移設終了（予定）
- ⑤2008年01月 : 東京工場より設備移設開始（予定）
- ⑥2008年02月 : 埼玉工場より設備移設開始（予定）
- ⑦2008年03～04月 : 東京工場の設備移設終了、生産停止（予定）
- ⑧2008年07～08月 : 埼玉工場の設備移設終了、生産停止（予定）
- ⑨2008年10月 : DPBフル操業体制スタート（予定）

5. 従業員について

労働組合との合意事項に沿って、個人別の話し合いを進めております。

6. 業績への影響

両工場は、設備移設後に閉鎖する予定であり、今年度（2008年03月期）の業績への影響は軽微であります。

以上